



工学部長記者懇談会(8月)

日時:8月22日(木) 10:30~12:00 中示範 C 教室

【発表事項】

(1)10:30~10:50

資料1

ひらめき☆研究ライフ

発表者:学術研究院 准教授 右田 聖 (化学・バイオ工学専攻)

(2)10:50~11:10

資料2

山形大学米沢キャンパスで日本油化学会第 62 回年会を開催

～ナセバ成るオレオの力でイノベーション！～

発表者:学術研究院 教授 野々村 美宗 (化学・バイオ工学専攻)

(3)11:10~11:30

資料3

国際高分子結晶化会議2024(IDMPC2024)開催について

～高分子結晶化の国際会議が 2024 年 9 月に開催～

発表者:学術研究院 教授 松葉 豪(有機材料システム専攻)

(4)11:30~11:50

資料4

「360°よねざわオープンファクトリー」に参加します！

～9月13日(金)・14日(土)に旧米沢工業高等学校本館にて～

発表者:山形大学 工学部長 黒田 充紀

360°よねざわオープンファクトリー実行委員会委員長 近藤 哲夫(こんどう てつお)

プラットヨネザワ代表取締役 宮嶌 浩聡(みやじま ひろあき)

【通知事項】

(5)11:50～

資料5

めーかーずフェスタ 2024 de 米沢を開催します！

～10月5日(土)・6日(日)に米沢市伝国の杜にて～

【次回開催予定】

9月12日(木) 10:30~12:00(中示範 C 教室)

【2024年度 工学部学部長記者懇談会開催予定】

10月10日（木） 10：30～12：00（中示範C教室）

11月14日（木） 10：30～12：00（中示範C教室）

12月12日（木） 10：30～12：00（中示範C教室）

1月16日（木） 10：30～12：00（中示範C教室）

2月13日（木） 10：30～12：00（中示範C教室）

3月13日（木） 10：30～12：00（中示範C教室）



ひらめき☆研究ライフ

山形大学 学術研究院

右田 聖

連絡先

Tel :

Mail: migita@yz.yamagata-u.ac.jp

名 前 : 右田 聖 (みぎた さとし)

所 属 : 山形大学大学院理工学研究科 化学バイオ工学専攻

役 職 : 准教授

出 身 : 熊本県

生年月日 : 1980年8月20日 (年齢:43)

学 歴 : 八代工業高等専門学校 生物工学科
八代工業高等専門学校専攻科 生物工学専攻
九州工業大学大学院生命体工学研究科 博士前期課程
九州工業大学大学院生命体工学研究科 博士後期課程

職 歴 : 物質・材料研究機構 生体材料研究所 博士研究員
東京医科歯科大学生体材料工学研究所 特任助教

先生の夢・メッセージ

なぜ、人工材料が生体に馴染むのか、原理を明らかにしたいです。



人工材料

金属

？

セラミック

アパタイト(骨)

高分子

コラーゲン、ホルモン、細胞膜

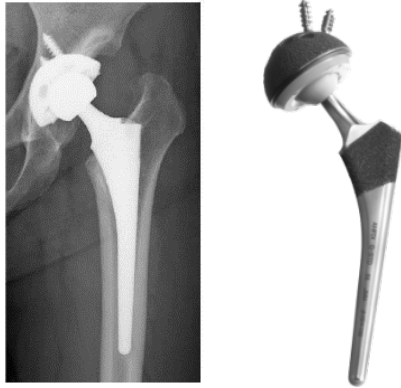
- 金属は体の中に存在しないにも関わらず、生体材料としてよく使用されている
- チタンは生体適合性が高い

人工材料に共通した何かの因子があるはず

今 どんな研究をしているの？

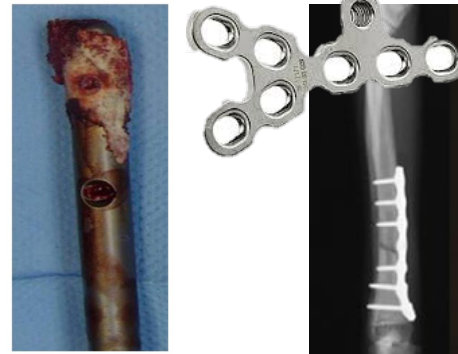
材料の生体適合性に関する研究

人工股関節：長期間体内に留置

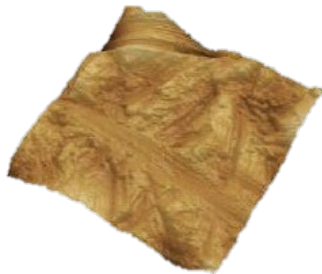


骨と強く結合して欲しい

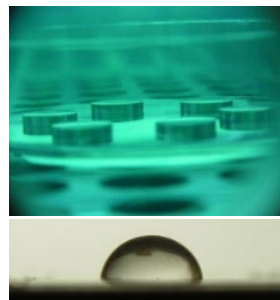
骨固定部材：治癒後、摘出拔去



骨を支えるだけで充分。強く結合すると摘出時に再骨折のリスク



形状・粗さ



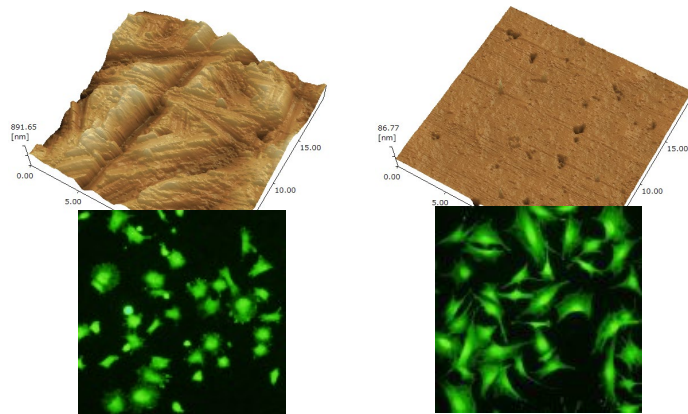
親水化



新しい合金

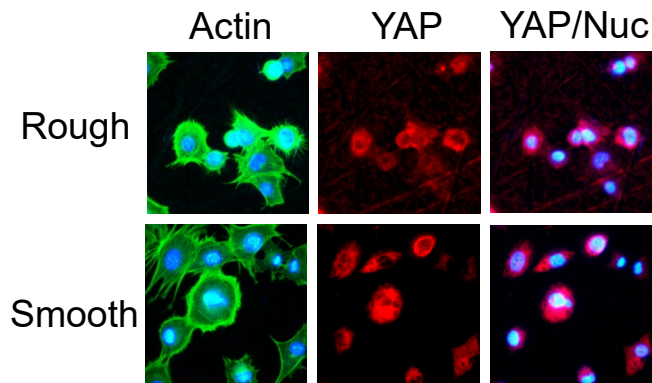
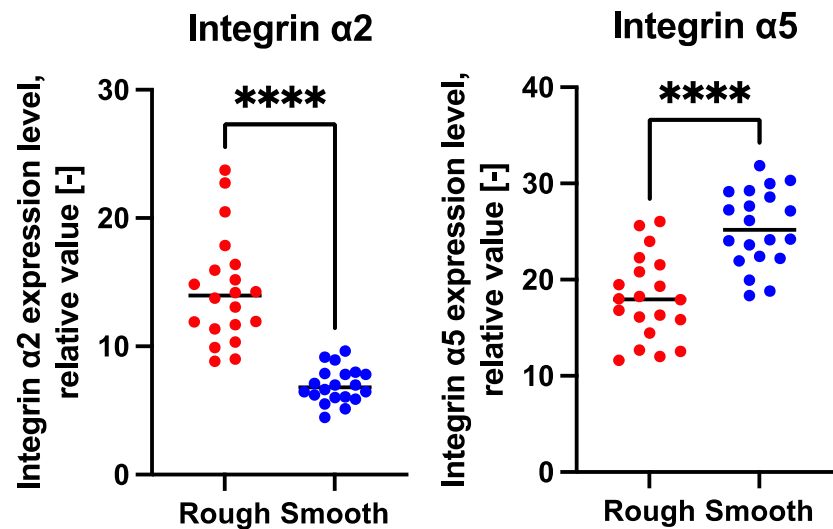
今 どんな研究をしているの？

凹凸面に対する細胞応答

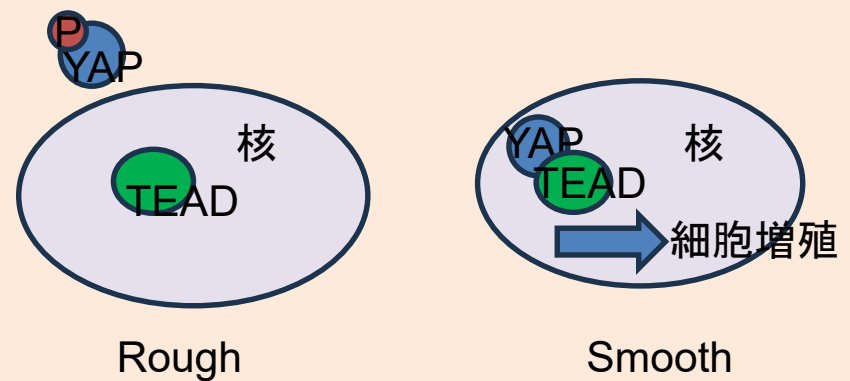


Rough

Smooth



凹凸に対する細胞応答の分子メカニズム



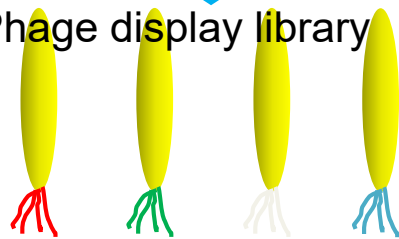
今 どんな研究をしているの？

材料選択性結合ペプチド

分子進化工学

ペプチドライブラリー
13²⁰種類(≒200垓 種類)

Phage display library



変異

変異

淘汰

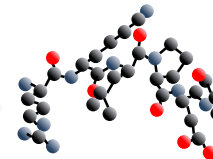
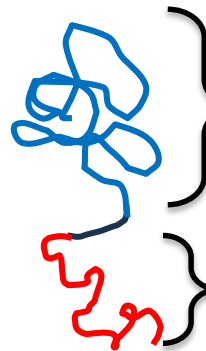
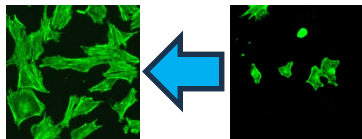
適応

淘汰

適応

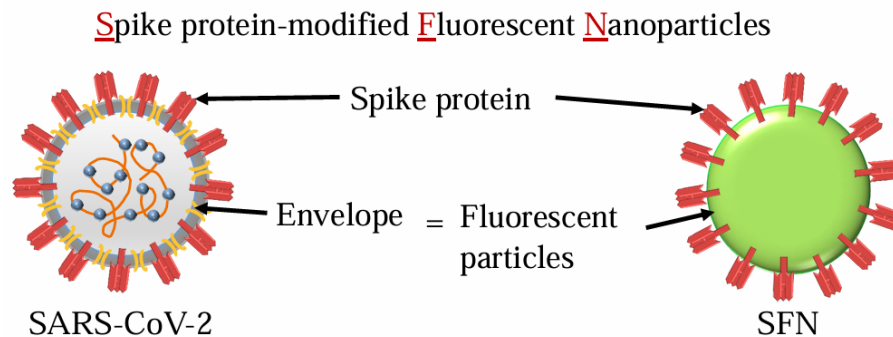
生存

機能性分子

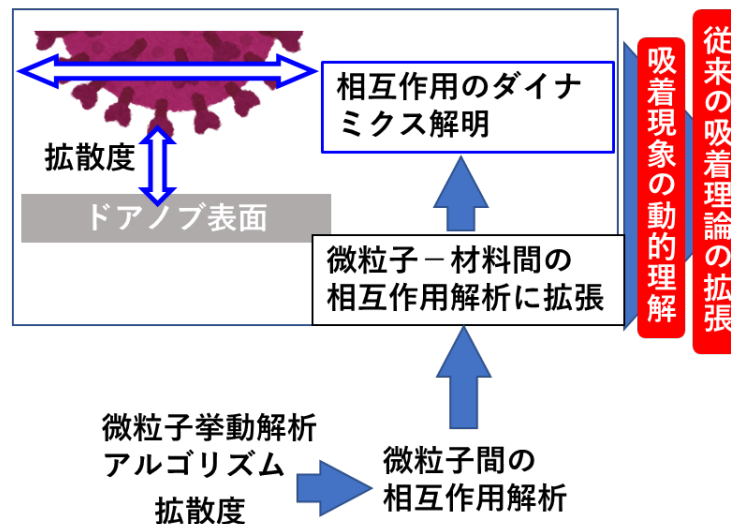


今 どんな研究をしているの？

ウイルス付着メカニズムの解明



ウイルスが付着しづらい
素材を開発する



波及効果

応用研究への発展

革新的な材料設計（医療・環境）

効果的な吸着材

汚れ防止材

低吸着表面

ウイルスまん延防止

間接的感染の詳細理解

基盤研究・学術変革領域への発展

拡散度の物理化学的意義

微粒子吸着理論の変革

より高感度な拡散度計測

どんなときにひらめきますか？

ディスカッション
しているとき



論文を書いているとき

実験がうまく
進まないとき



ひらめきアイテムはコレ！

筆記具



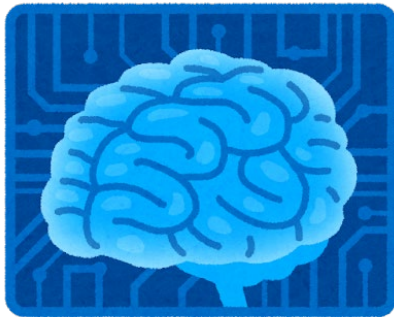
万年筆とノートが好き

ウイスキー

アードベッグが好き



ChatGPT、Claude



1人ブレスト
アイデアまとめ

PRESS RELEASE

令和6年（2024年）8月22日

山形大学米沢キャンパスで日本油化学会第62回年会を開催

【本件のポイント】

- 動植物から得られた油脂・脂質や界面活性剤に関する科学と技術の発展を図る日本油化学会の年会在2024年9月3日(火)~5日(木)に山形大学米沢キャンパスで開催されます(実行委員長: 野々村美宗山形大学教授)。
- 今年度のテーマは「なせば成る! オレオの力でイノベーション」、大学・研究機関に所属する研究者、食品・化粧品の企業の商品開発者・技術者が集まって、最先端の研究成果について約200件の発表が行われる予定です。会期間中には、米沢市で実施されるイベントの中では最大規模の約400名の参加が見込まれており、米沢観光コンベンション協会などの支援を受けて実施されます。
- 山形大学およびその連携企業から12件の発表が行われるだけでなく、市民講座には日本酒「東光」を製造・販売する株式会社小嶋総本店 代表取締役社長 小嶋健市郎様に講演いただく予定です。



【内容】

公益社団法人日本油化学会(昭和26年11月21日発足、岡野知道会長)は油脂・界面活性剤に関する科学技術の発展を図り、生活と健康の向上に寄与することを目的として設立された学会で、1045名の個人会員と140の法人会員によって構成されています。秋に行われる年会は、本学会の中で最大の事業で、これまでにこの学会で発表された研究成果から画期的な健康食品や化粧品が生まれています。本年会においても食品成分による脂肪燃焼促進作用、和牛の甘い香りに寄与するラクトン光学異性体の分析法、界面活性剤・ヨウ素複合体によるウィルス不活化など、今後のこの分野のイノベーションにつながる可能性の高い発表が幾つも予定されています。

日本油化学会では新型コロナ禍においてはオンラインで年会を開催してきました。本年度は昨年度に高知工科大学で対面開催された第61回年会に引き続いての対面開催となります。実行委員会では、油化学会の存在意義を改めて検討し、学术界と産業界が融合することで新たなイノベーション提案する場となることが本学会の特色であることを改めて確認し、「産学連携シンポジウム」を開催することといたしました。このシンポジウムでは油脂や界面活性剤に関する先端的な研究を行っているアカデミアと資生堂・ポーラ化成・三菱ケミカルなどのこの分野をリードする企業の研究者がプレゼンテーションおよびディスカッションを行い、シーズとニーズのマッチングを図ります。また、市民講座では株式会社小嶋総本店 代表取締役社長 小嶋健市郎様に講演いただき、油脂・化粧品と日本酒というちょっと異なる分野の融合を図ります。

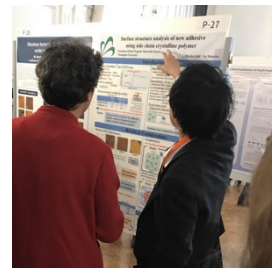
お問い合わせ 学術研究院教授(化学・バイオ工学分野)／野々村美宗
TEL 0238-26-3164 メール nonoy@yz.yamagata-u.ac.jp

令和6年（2024年）8月22日

国際高分子結晶化会議 2024（IDMPC2024）開催について ～高分子結晶化の国際会議が2024年9月に開催～

【本件のポイント】

- 世界10カ国以上から、高分子の結晶化についての研究者が米沢に一堂に集まって議論
- 海外から約60名、国内から約60名の種々の研究者が集合し、3日間の議論を行う



【概要】

国際高分子結晶化会議 2024（IDMPC2024）を伝国の杜（米沢市）で、2024年9月17日（火）～20日（金）に開催します。高分子の結晶、結晶化について、若手研究者から世界的に著名な研究者まで多くの研究者が10カ国以上から約150名の参加者で開催いたします。1999年にドイツのフライブルクで開催され他研究会を基に、2011年以降、2年毎に世界各国で行われており、前回2019年はスペインのサンセバスチャンで開催されました。新型コロナ禍で延期されましたが、この9月に開催されます。

HP：<https://smartconf.jp/content/idmpc2024/>

【背景】

高分子の結晶化は非常に古くから多くの研究が行われてきました。高分子の結晶は繊維や樹脂、プラスチック製品の強度や特性、熱物性にも係る非常に重要な構造であることもあり、基礎的研究から応用研究まで数多く行われています。そこで、1999年にドイツのフライブルクで「国際高分子結晶化会議」が開催され、その後も、2013年日本、2015年ハワイ、2017年ウィッテンベルグ、2019年サンセバスチャンと2年ごとに開催されてきました。本来、米沢で2021年に開催することになっていましたが、2020年以降の新型コロナウィルス禍により4年延期し、2024年9月に米沢にて開催されることになりました。

【目的等】

2年に一度世界中の高分子の結晶化に関する研究者が世界各地に集まり、意見を交換する場として開催されています。今回はベテラン研究者だけではなく、世界各地（日本を含む）の若手研究者の講演も行うことにしています。山形大学からは多くの学生がポスター発表をする予定です。

【プログラム】

9月17日（火） 登録のみ
9月18日（水） （場所 伝国の杜）
9：30～ 開会（Opening）
9：40～18：20 シンポジウム（ポスター発表含む）

9月19日（木） （場所 伝国の杜）
9：15～18：20 シンポジウム（ポスター発表含む）

9月20日（金） （場所 伝国の杜）
9：15～12：30 シンポジウム（ポスター発表含む）
終了後 大学の見学、東光酒造博物館見学

お問い合わせ

学術研究院教授 松葉 豪（有機材料システム研究科）

TEL 0238-26-3053 メール gmatsuba@yz.yamagata-u.ac.jp



国際高分子結晶化会議 2024

日時：2024 年 9 月 17 日～20 日

場所：山形県米沢市 伝国の杜・山形大学米沢キャンパス

参加予定：150 名（うち 海外 70 名、国内 80 名）

発表予定：口頭 44 件、ポスター 約 80 件

本会議、高分子結晶化国際会議 2024 (IDMPC2024)、の前身は、1999 年にフライブルク大学の Gert Strobl 教授によりドイツ、ヴァルダウで開始された高分子結晶化機構のより深い理解を目的としたローカル会議である。2011 年に高分子結晶化研究のより国際的な発展を目指して国際会議として現在の形 IDMPC になり、隔年会議（2011 年北京、2013 年京都、2015 年ホノルル、2017 年ゲッティンゲン、2019 年サンセバスティアン）として継続されてきた。サンセバスティアンで行われた IDMPC2019 の際、その国際組織委員会で次期開催国として日本での開催を承認されていたが、新型コロナウイルス感染症により延期を余儀なくされていた。延期期間中も海外の研究者と綿密に連絡を取り合って開催時期

を探っていた。そして今年 2024 年 9 月 17 日から 20 日の期間で改めて山形県米沢市で開催される運びとなった。

本会議では高分子の結晶化に関する非常に古典的かつ基礎的なトピックスに加えて、最先端の研究が議論される。結晶性高分子の機能や配向の物理的な根源だけではなく、合成および天然高分子の結晶など幅広い議論を取り扱う。

また、実験や理論、シミュレーションなどのトピックスについて、招待講演およびポスター発表を行う。

現在（7 月 26 日現在）において、口頭発表 43 件、ポスター発表 52 件の登録があり、準備を進めている。登録者は約 150 名になる予定である。

ホームページ

<https://smartconf.jp/content/idmpc2024/>

来訪予定者：

Stephen Z.D. Cheng, University of Akron, US, 合成高分子, 超分子, 物性実験

Alejandro J. Müller, University of the Basque Country UPV/EHU, Spain, 合成高分子, 物性実験

Murugappan Muthukumar, University of Massachusetts, US, 高分子物理, 理論, 計算機実験

Akihiko Toda, Hiroshima University, Japan, 合成高分子, 物性実験

Claudio De Rosa, University of Naples Federico II, Italy, 合成高分子, 物性実験

Rufina Alamo, Florida State University, US, 合成高分子, 物性実験

Liangbin Li, Chinese University of Science and Technology, China 高分子物理, 物性実験

Toshikazu Miyoshi, University of Akron, US, 合成高分子, 物性実験

Sanjay Rastogi, King Abdullah University of Science and Technology, Saudi Arabia, 高分子物理、物性実験

Goran Ungar, Xi'an Jiaotong University, China, 合成高分子, 物性実験

彦坂正道、広島大学、高分子物性

田代浩二、愛知シンクロトロンセンター、高分子物性解析

戸田昭彦、広島大学、高分子結晶化

熊木治郎、山形大学、AFM,表面分析

日程

9月17日 ウェルカムパーティ（上杉城史苑）

9月18日 IDMPC2024 発表（伝国の杜）

夜 Conference Dinner（伯爵邸）

9月19日 IDMPC2024 発表（伝国の杜）

夜 バンケット（上杉城史苑）

9月20日 IDMPC2024 発表（伝国の杜）

午後 見学会（山形大学、東光（予定））

参加予定（7月26日現在）

外国よりの参加者 66名（中国、アメリカ、スペイン、フランス、ドイツ、イタリア、ウクライナ、サウジアラビア、ベトナム）

県外からの参加者 40名（仙台市、京都府、東京都、広島県、福岡県など全国から来訪）

県内からの参加者 約30名

令和6年（2024年）8月22日

旧米沢高等工業学校本館で楽しむ音楽とトークイベント ～360° よねざわオープンファクトリーとの協業～

【本件のポイント】

- 旧米沢高等工業学校本館（国の重要文化財）を利用した新しい体験型イベントを実施。
- チェンバロコンサートや織物関係者によるクロストークセッションを含む内容で、地域住民や学生に向けた文化的交流を促進。
- 昨年度から引き続き開催されるこのイベントは、米沢市の魅力発信と地域振興を目指す重要な取り組み。



【概要】

「第2回 360° よねざわオープンファクトリー」関連イベントとして、旧米沢高等工業学校本館を舞台に音楽とトークセッションを楽しむ特別イベントが9月13日(金)と14日(土)に実施されます。このイベントでは、国の重要文化財の活用とあわせて、地域の歴史や文化、そして未来への可能性を再発見することを目指しています。旧校舎の歴史的価値を活かしながら、来場者に新たな視点と体験を提供するプログラムが用意されています。両日、福田直樹氏を招いてのチェンバロ演奏が予定されています。また、地域の織物産業に関連したトークセッションが行われ、ゲストスピーカーとして、織物業界の第一線で活躍する方々を招き、米沢織の魅力とその未来について熱く語り合います。

【背景】

「360° よねざわオープンファクトリー」は、地域全体を巻き込み、米沢市の観光と産業を活性化させることを目的としたイベントです。本イベントは、その一環として山形大学の重要文化財を活用し、地域住民と学生の文化交流を深めることを目的としています。

【研究手法・研究成果】

イベントでは、チェンバロの演奏や、地元アーティストと外部ゲストによるトークセッションが行われ、旧校舎の魅力を最大限に活かしたプログラムが展開されます。ゲストスピーカーによるクロストークでは、米沢の織物産業の未来について議論が交わされます。このイベントは、地域住民のみならず、学生や米沢の未来に興味を持つ多くの方々にとって、貴重な学びと交流の機会となることが期待されています。また、イベントを通じて、旧校舎の新たな活用方法やその保存活動についても考えるきっかけとなり、地域の文化財の重要性を再認識する機会を提供します。来場者は、過去と現在が交差する空間で、地域の未来を考える貴重な体験を楽しむことができるでしょう。

【今後の展望】

このイベントを通じて、旧校舎の文化的価値を再認識し、さらなる活用の可能性を探るとともに、米沢市の魅力を広く発信することで、地域の持続可能な発展に寄与することが期待されます。

お問い合わせ

米沢キャンパス事務部総務課 鈴木 啓伸

TEL 0238-26-3150 メール yu-koukoho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

関係者各位

山形大学理工学研究科長・工学部長
黒田充紀

「360°よねざわオープンファクトリー」関連イベントー山大トークイベントーのご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は当大学の運営にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、米沢市にて来月 9 月 12 日(木)～14 日(土)にて、米沢の魅力を PR し、まち全体の観光や産業をさらに元気にしていくことを目的に、地域一体型の「第 2 回 360°よねざわオープンファクトリー」が開催されます。

昨年度から開催された本事業は、山形県では初の試みであり、行政と民間団体が団結し実行、2,000 名以上の方が来場されたイベントです。

当大学では、関連イベントとして、下記の通り、素敵なゲストをお招きし国の重要文化財である旧米沢高等工業学校本館を活用した新たな体験を提供するイベントを昨年に引き続き行う予定です。

つきましては、是非お誘い合わせの上、ご来場いただきますようお願いいたします。

敬具

記

■概要

・名称 「360°よねざわオープンファクトリー」関連イベントー山大工学部で体験する織物と芸術ー

・日時 ①9 月 13 日(金)12 時～、②9 月 14 日(土)13 時 30 分～

・場所 山形大学工学部 旧米沢高等工業学校本館(国の重要文化財)2階
住所 山形県米沢市城南 4 丁目 3-16(山形大学 工学部)

・タイムテーブル

9 月 13 日(金)

12 時 15 分～ 福田直樹さんによるチェンバロコンサート

12 時 55 分～ 装いの庭 代表 藤枝大裕氏 をゲストファシリテーターに迎え、
若いゲストスピーカーとのトークセッション

トークテーマ:「外から見た ”米織の面白いところと可能性”」

14 時 30 分～ 質疑応答、ゲストファシリテーター・スピーカーとまわるキュレーターツアー
※受付ランチ提供は 11:30～になります。

9 月 14 日(土)

13 時 45 分～ 福田直樹さんによるチェンバロコンサート

14 時 25 分～ モデル / ブランド LAUW プロデュース 小野 千恵子氏
銀座田屋 チーフデザイナー佐藤 由記也氏による

トークテーマ:「米織で製品を作るということ」

15 時 25 分～ 質疑応答、ゲスト LAUW 製品販売、田屋さん展示(シルクの反物)撮影を実施

※受付、ランチ提供は 13:00～になります。

・金額 1 日目 2,500 円 (イベント代(チェンパロコンサート含)、食事・ドリンク代)
2 日目 2,500 円 (イベント代(チェンパロコンサート含)、食事・ドリンク代)

・定員 各日 25 名

・申込締切 9 月 11 日(水)

・チケット購入方法

①右記オンラインストアよりご購入ください。

②チラシよりFAXでお申込みください。FAX番号(0238)-33-0093

※添付のチラシにお申込みフォームついております。

オンラインストア→



なお、当日の駐車場につきましては、下記をご参照ください。

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/access/>

※イベント参加の旨を守衛室にてお伝えください。

駐車場情報→



以上

添付資料 1:「360°よねざわオープンファクトリー」関連イベントチラシ

お問い合わせ先:プラットヨネザワ(株) 宮嶋浩聡(みやじま ひろあき)
(TEL)090-2884-7905

■9月15日(金) 出演者



福田 直樹(ふくだ なおき)氏
ピアニスト・チェンバリスト

1960 年、東京都生まれ。桐朋学園大学を卒業後、渡欧しシュトゥットガルト国立芸大、ウィーン・コンセルヴァトワールにて研鑽を積む。ヴィオッティ、ポルトー、エンナ等の国際コンクールに多数入賞したほか、世界各国での演奏や音楽を通しての治療教育、学校や福祉施設への出前演奏を長年にわたり行う。2017 年、米沢市南原猪苗代町に移住。2019 年5月から3年間の任期中、米沢 IJU(移住)応援大使を務める。



藤枝 大裕(ふじえだ ひろやす)氏
装いの庭 代表

服飾専門学校を卒業後、襷糸メーカーに入社。企画、営業職を経て、2011 年、手紙社に参加。さまざまなイベント・店舗の立ち上げと運営に関わる。「布博」企画立案者。2016 年 4 月より独立。2021 年 4 月株式会社装いの庭設立。山梨を拠点に繊維・アパレル産業の新規事業開発や市場創出の支援を行う。主な仕事は山梨県富士吉田市の産業観光事業「ハタオリマチフェスティバル」のディレクション、旧製氷工場をリノベーションしたギャラリースペース「FUJIHIMURO」の企画運営、織物工場の廃材を活かす工作プロジェクト「B-TAN」の企画運営、「シマノネ」ファブリック製品の監修など。



森口 理緒(もりぐち りお)氏

大学卒業後、富士吉田市地域おこし協力隊として3年間活動。富士吉田産地の織物工場とつながりを作りながら、工場とデザイナーを繋げる活動をする。協力隊卒業後は富士吉田産地や八王子産地を拠点に活動。八王子にある奥田染工場の新しいスペース「布類計画室」の立ち上げに関わる。布類計画室に入れた自動織機を動かすために練習中。



山口 英太(やまくち えいた)氏

2002年、山形県米沢市生まれ。家業が100年続く“米沢織”の織元、山口織物鷹山堂。2023年に文化服装学院に入学し、現在ファッション工科専門課程 IMD 科2年生。自主活動として衣服と映像を融合する新たな作品制作を行っている。2023年に自主制作した短編映画『八王子、恋愛ムジーク』が第11回八王子 short film 映画祭にてノミネート。

■9月16日(土)出演者



小野 千恵子(おの ちえこ)氏

モデル / ブランド LAUW プロデュース

1995年、16才で雑誌モデルとしてデビュー。2000年には元サッカー日本代表選手の小野伸二氏と結婚。小野伸二氏のオランダ移籍に伴いモデルを引退し、渡欧。出産、帰国、子育てを経て、2019年に雑誌「STORY」の専属モデルとして復帰。2022年に犬と家族のためのファッションブランド「LAUW(ラウー)」を設立。米沢市の田屋織物工房を訪れ、銀座田屋との商品開発を始める。現在、モデルの傍ら「LAUW」を通じて、一部売上金の寄附、保護犬活動、犬と触れ合う「命の授業」など、ボランティア、チャリティーにも力を入れている。家庭では、妻、二児の母、そして大型犬二匹を飼う愛犬家でもある。



佐藤 由記也(さとう ゆきや)氏

銀座田屋 チーフデザイナー

1975 年、東京造形大学デザイン学部テキスタイルデザイン学科卒業。1976 年に株式会社田屋入社。1989 年に田屋織物工房設立。同工房担当、並びにチーフデザイナー就任。以後、毎月米沢市を訪れ、デザイン部門の統括、指導に当たっている。2012 年には「嵐にしやがれ」(日本テレビ)へ出演し、番組でネクタイ選びを伝授するなどマスコミ取材も多数。今なお第一線で、年間60柄以上をデザイン。これまでに手掛けた柄は、2000柄に及ぼうとしている。ネクタイブランドとしての田屋のイメージを確立させた、業界の第一人者。

令和6年（2024年）8月1日

めーかーずフェスタ2024 de 米沢を開催します！

～10月5日（土）・6日（日）に米沢市伝国の杜にて～

【本件のポイント】

- 10月5日（土）・6日（日）、米沢市の伝国の杜にて「めーかーずフェスタ 2024 de 米沢」を開催します。
- 「めーかーずフェスタ」とは、身近で新しいテクノロジーをユニークな発想で使いこなし、発明と創造が一杯で機知に富む「メーカー」が集い、発表や展示を行うイベントです。
- 本イベントでは、米沢の地で未来のものづくり・クリエイター達が一堂に会し、それぞれの作品を発表・展示を行います。



【概要】

山形のものづくりの拠点となる米沢市で、山大版「めーかーずフェスタ」を開催します。めーかーずフェスタとは、身近で新しいテクノロジーをユニークな発想で使いこなし、発明と創造が一杯で機知に富む未来の「メーカー」「クリエイター」達が集い、発表や展示を行うイベントです。本イベントでは、未来のものづくり・クリエイター達が一堂に会して、ロボット・マイコン・電子工作・3D プリンタ、VR/MR/AR（Unity、マイクラ、メタバースなど）・アバター・生成AI、IoT/ICT、地域づくり（衣食住、3R、等）・社会実装（e-sports、プロジェクションマッピング、観光・見守りを支える技術、等）、等々、熱意のこもった作品や成果を、米沢の地で自由闊達に発表展示・説明を行います。本企画は、メタバースなどのVR技術やロボット等を活用し、学生・教員・研究者が垣根を越えて集まり、地域に根ざした新しいコミュニケーション支援システムを開発する拠点として活動している山形大学認定研究グループ『ナセバース』と米沢ものづくり振興協議会との共催、米沢市の後援で開催します。

【背景】

インターネット上やゲームの世界など、現実とは異なる空間に存在する3次元の仮想空間「メタバース」は、ここ数年において世界中で関心が集まってきており、ビジネスや教育・観光といった分野で導入の検討が進められています。また、対話が可能なロボットやペットロボット等を駆使した見守りなど各種支援システムが開発・運営されています。本学でも、学生サークルであるVR（バーチャル・リアリティ）部において「メタバース」を活用したバーチャルオープンキャンパスやケヤキ並木の3Dデータ化、といった活動がおこなわれています。これら「メタバース」やICT・ロボット等を活用し、アフターコロナ時代の教育や介護、他のさまざまな分野で児童から現役世代・高齢者まで幅広い世代の地域の人たちの交流を深める場をつくろうと、学年・身分・学部学科の垣根を越えた学生・教員・研究者が結集して「ナセバース」研究拠点を立ち上げ、2022年6月2日山形大学認定研究グループの承認を受けました。今まで培ったロボットやメタバース技術を融合し活用することで、世代間・年代間をつなぐ新たなコミュニケーションツールによる仕組みづくりを目指しており、その活動の一環として、米沢市内の小学生・中学生・高校生と連携したイベントを企画したものです。

【開催目的】

未来のものづくり・クリエイター達が一堂に会して、ロボット・マイコン・電子工作・3D プリンタ、VR/MR/AR（Unity、マイクラ、メタバースなど）・アバター・生成AI、IoT/ICT、地域づくり（衣食住、3R、等）・社会実装（e-sports、プロジェクションマッピング、観光・見守りを支える技術、等）、等々、熱意のこもった作品や成果を、米沢の地で自由闊達に発表展示し、交流を通じて互いの興味を喚起し、ものづくり技術のさらなる向上と人的ネットワークの形成、新機軸の創造に資する事を目的としています。

【今後の展望】

今年度は2回目の開催となりますが、今年度は米沢ものづくり振興協議会との共催、米沢市が後援として参画することになりました。このイベントをきっかけに、大学と地域をつなぐ取組みとして展開していこうと考えています。



山形大学認定ナセバース
研究グループ

MAKERS

めーかーず × フェスタ

FESTA

2024 de 米沢

開催場：伝国の杜

入場料：無料

特設サイトはこちら

10 / 5 ▶ 6 (土10:00~16:00)
(日10:00~15:00)



こめられた技術に、あなたは没入する

山形のものづくりの拠点となる米沢市で 『めーかーずフェスタ2024 de 米沢』 を開催します!!

めーかーずフェスタとは？

身近で新しいテクノロジーをユニークな発想で使いこなし、みんなを笑顔にする、未来のメーカー・クリエイター達が集い、発表や展示を行うイベントです。

本イベントでは、未来のものづくり・クリエイター達が一堂に会して、ロボット・マイコン・電子工作・3Dプリンタ、VR/MR/AR（Unity, マイクラ, メタバースなど）・アバター・生成AI、IoT/ICT、地域づくり（衣食住、3R等）・社会実装（e-Sports、プロジェクションマッピング、観光・見守りを支える技術）等々、熱意のこもった作品や成果を、米沢の地で自由闊達に発表展示・説明を行います。

また、本イベントを通じて、地域の素晴らしい技術やそれを担う人材を発掘し、小学校・中学校・高等学校・大学・地元企業との相互の繋がりを創出することで、今後の地域産業や技術・教育の発展に貢献したいと考えています。

出展申込先
QRコード



問い合わせ先
QRコード



イベント予定

1F：展示ブース（15～20を予定）

2F：体験・参加型ブース

10月5日（土）：

魔改造の杜「改造アイデア対決」

10月6日（日）

・e-sportsブース：

FPSゲーム・格闘ゲームの体験および展示

・ワークショップ：

プログラミング体験

主催：山形大学認定ナセバース研究グループ

共催：米沢ものづくり振興協議会

協賛：株式会社 森の学校、山形大学VR部

武将の街 米沢 eスポーツ振興会

後援：米沢市、米沢工業会